道路維持・修繕工　舗装用両面粘着テープ

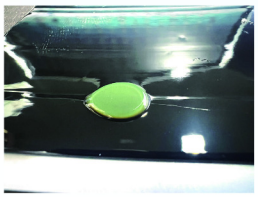
アステープドット

ASPH tape

90 / JTシリーズ

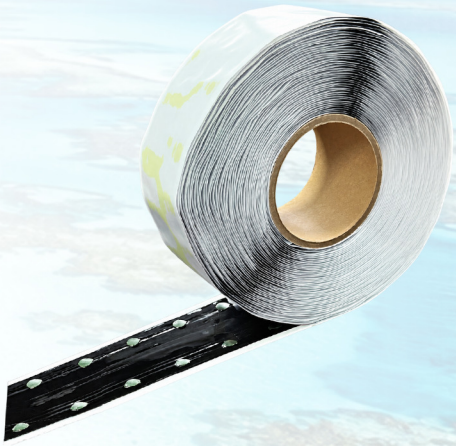
貼り付けやすく、剥離紙も剥がしやすい

パッチング工・打ち換え工・切削オーバーレイ工等
多用途に対応するドット付きテープ



ドット付き接着剤

垂直・水平面への貼り付けが容易。
I・L・U・T型にも対応し、垂れにくく、
剥がれにくい。打ち継ぎ目端部を強力に接着。



製品仕様と対応用途

製品	厚み	幅	長さ／巻	シール コート	薄層ゼロ擦り付け部 タックコート	サイド タックコート
アステープドット90	0.5 mm	90 mm	50 m	○	○	—
アステープドットJT30	1.0 mm	30 mm	20 m	○	—	○
アステープドットJT50	1.0 mm	50 mm	20 m	○	—	○
アステープドットJT100	1.0 mm	100 mm	20 m	○	—	○

○：対応用途

シールコート



施工動画

薄層ゼロ擦り付け部
タックコート



施工動画

サイドタックコート



施工動画

強力な接着で、舗装を長持ち

薄層部のめくれ・骨材飛散・表面剥離を抑制。
止水力を高め、ジョイントをきれいに仕上げる。
火気による溶融作業・養生作業を減らし、
効率的に施工できます。

原版記載の比較：乳剤の約4.8倍、
ストレートアスファルトの約1.4倍

☆ 株式会社 石川建設
www.ishikawakensetsu.jp

接着強度の比較

名称	アステープ ドット	乳剤 （従来）	ストレート アスファルト
接着強度 N/mm²	1.16	0.24	0.80

特許 第7337411号　NETIS CG-230014-A
NeTIDa 2021001

アステープドット

ASPH tape

施工手順・取り扱い説明

共通手順 01〜03







01 清掃・乾燥

泥・砂・粉塵をほうきや
ブラシ等で十分に除去。
濡れた路面はブロアーや
バーナーで乾燥してから
貼り付ける。

02 テープ貼り付け

断面やジョイント部に押し付ける。
サイドタックは基層・既設舗装
の表面に折り込んでも問題なし。
冬場・低温時の事前加熱は有効。

03 剥離紙を剥がす

暑い時期は樹脂が付着して
剥離紙が剥がしにくい場合あり。
冷却したペットボトル底部等で
こすり付けて冷やすと
剥がしやすくなります。

用途別の仕上げ 04

薄層ゼロ擦り付け部 タックコート

ドット90

テープの内側に乳剤を散布。
剥離紙に付着しても問題なし。
加熱合材を敷き均し・転圧。
合材の熱で溶けて接着します。
低温時に溶け出しが弱い場合は、
薄層ゼロ擦り付け部を
バーナーで加熱しながら転圧。

シールコート

ドット90・JTシリーズ

春〜秋、表面に粘りがある場合は
砂・石粉・珪砂・セラミック骨材・
炭カル2号等で初期養生します。
水は十分に溶けて接着した
ことを確認してからかけます。
接着が弱いまま水をかけると、
めくれの原因になります。

サイドタックコート

JTシリーズ

切削廃材・カッター泥を十分除去。
既設舗装のバーナー加熱も有効。
乳剤先行時は十分乾燥して貼付。
残材は接着・剥離紙剥離の妨げ。
テープ以外に乳剤を散布・塗布。
加熱合材を敷き均し・転圧。
合材の熱で溶けて接着します。

05 完成・交通開放

養生後に交通開放。接着が弱い場合は
テープ上からバーナーで溶融し、
接着力を高めてから養生・開放します。
水養生も十分な接着を確認してから散水。





作業・保管上の注意

切断はカッターナイフ・シリコンバサミが便利。一般のハサミは樹脂が付着しやすいため注意。
けが防止のため手袋を着用。低温時（20°C以下）は貼付面をバーナーで50°C前後に加熱。
火気厳禁。一定の場所を定め、冷暗所に保管し、直射日光・高温多湿を避けてください。

応急処置（原版の取扱説明より）

症状	処置
目に入る	水で15分以上洗眼し、直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚付着	汚染した衣服を脱ぎ、付着部・接触部を大量の水で洗浄する。
吸引	空気の新鮮な場所に移し、直ちに医師の手当てを受ける。
誤飲	水で口の中を洗い、直ちに医師の手当てを受ける。